



CHIE FUKUDA

# 福田ちえの市政だより

福田ちえ後援会事務所 〒320-0841 宇都宮市六道町 12-38

電話: 028(636)2582 FAX: 028(636)2559

<http://www.f-chie.jp/>✉ [info@f-chie.jp](mailto:info@f-chie.jp)

## ともに変え、ともに守り、ともに生きる 誰もが居場所と出番のある健康福祉都市を目指して

「自粛」「制限」「抑制」「回避」「封鎖」... 新型コロナウイルス感染症の流行で世界の姿が変わりました。その中で私たちはどんな変化を被り、その結果何を失ってしまうのでしょうか。得るものなどあるのでしょうか。

### 「価値あるもの」を捉えなおす

スペインインフルエンザの流行に見舞われて100年。この間にグローバル化やICT化が進み、医学や医療の進歩によって平均寿命が延伸し、経済成長によって物に囲まれた豊かな生活を送ってきました。一方で、効率性・生産性が追及され経済優先政策により医療にかかるお金は削減され、病院や保健所は統合・縮小・解体されてきました。結果、日本の医療や保健の機能が意外と脆弱で、医療用の機材や材料もかなりの部分を海外に依存しており、危機到来の際には全く余力がないことが判明しました。医療以外にも私たちの生活の基礎を支える仕事や業種、例えば介護、教育、保育、小売り、物流、農業、ごみ処理といったエッセンシャル・ワークがきちんと機能してこそその生活であり経済であることを理解しました。

### 日々の暮らしで見つける価値

何かに追われて過ごす日々ではなく、いつもどこかで立ち止まり、振り返ることで価値を追求しながら人生を豊かにしていくことへの価値。豊かで楽しく生きがいのある人生のために、私たちにとって本当に必要なもの、命と生活を支え豊かにし、楽しさと潤いとゆとりを生むものを育て維持するための取り組みや活動を大切に、人とモノと金の配分に配慮していかなければなりません。

### 賢明さとさらなるやさしさ。知識・意識・良識。

誰もが「助けて」の声が上げられ、必要な社会的支援が受けられる地域社会であることが必要です。賢明でよりやさしい地域社会を、ともに創ってまいりましょう。

生活者の  
視点で



### 6月議会での質問項目（6月18日）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策に関すること
  - (1) 第2波、第3波を想定した医療提供体制の再構築について
  - (2) 情報の発信と共有について
  - (3) 雇用の確保について
- 2 コロナ禍における災害時の備えについて
  - (1) 避難所の設置と運営について
  - (2) 災害ボランティアセンターについて
  - (3) 旧一条中学校跡地の活用について
- 3 教育行政について
  - (1) 哲学を教育に取り入れることについて
  - (2) G I G Aスクール構想について
- 4 子どもの家等における障がい児の受入れに関する制度設計について
- 5 本市の虐待対策について



【⇄市議会の録画映像】

[http://www.utsunomiya-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker\\_result&speaker\\_id=336](http://www.utsunomiya-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=336)

宇都宮市

避難所開設・運営ガイドライン  
感染症対策編

宇都宮市

避難所開設・運営ガイドライン  
感染症対策編（令和2年7月策定）

感染症が収束していない状況下で災害が発生した場合に備え、令和2年3月に策定された「宇都宮市避難所開設・運営ガイドライン」に、感染防止対策を追記した「感染症対策編」が追加作成されました。避難所となる施設の管理者や地域（自主防災会・自治会等）の方などが、感染防止対策を踏まえた避難所を開設・運営することができるよう、必要な情報が掲載されています。コロナ禍での災害に備えましょう。

本ガイドラインは、感染症対策のために「新たに追加すべき事項」を本編に盛り込み、準備が収束するまでの間、運用するためにとりまとめたものです。災害が起きた際に、市職員をはじめ、避難所となる施設管理者や地域の方などが、すぐに避難所を開設・運営することができるよう、特系列ごとに必要な情報を掲載しています。

平常時から、本ガイドラインに目を通し、

様式集、資料集、避難所運営委員会及び各避難所の備品とセットで、備えておきましょう。

令和 2年 7月

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/anshin/bosai/1023194.html>

【会派役職：所属委員会】

■市民連合 副会長・政調会長

■宇都宮市監査委員

■議会運営委員会

■厚生常任委員会

政策討論テーマ

- ① 感染症対策について
- ② 保健所の体制について

■誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくり調査特別委員会

# 災害と防災 ～台風第19号による被害と支援から～

「令和元年台風第19号栃木県宇都宮市における田川流域の避難行動・生活復興調査」から



8月22日【第36回地域支え合い研究会】

講師：坪井 聖太郎氏（人と防災未来センター-Research Faeroe）

昨年10月12日の台風19号では、24時間の降水量は観測史上最大の325.2mmを記録し、田川流域及び姿川流域で甚大な住宅浸水被害が発生しました。坪井氏はこれまでの経験から、災害を『個人の記憶』から『社会の記録』に残し今後に繋げることが重要だとして、支援に入ったNPO、NGO、民間団体と連携して生活復興調査（回答448件・763人）を実施。実際の避難行動や自家用車の被害地点、家屋修理費用(出費)など踏み込んで調査を行い、結果を分析し報告書に纏めました。

また、発災翌日から1か月間支援を続けていた炊き出しセンター代表の山口真由美さんからは、住民にとって一番大変な時に支援に入っていたことで結果として住民からの信頼を得ていたことが、調査でよくわかった。高齢者の避難のきっかけは“ご近所の声かけ”という声が多かった。普段から地域の繋がりを持つことの大切さが可視化された。NPO、NGO、団体のつながりを今後の災害やまちづくりに活かしていきたい。との報告をいただきました。私自身も何度か被災地で炊き出しのお手伝いや田川の欄干清掃を行い、議会では避難所や被災者支援、災害ボランティアセンター等に関する提言をしてきましたが、引き続き、防災に繋がる地域づくりを推進してまいります。

報告書のダウンロードはこちら → <https://www.tochigivnet.com/災害-調査報告-がんばろう栃木-宇都宮-diy/>

## 第15回全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in とちぎ



(2/15,16) 実行委員（1年間）を務めました。

協同実践交流会は、目の前にいる若者たちに向き合い日々格闘している実践者が、地域や団体、立場の別などを超えて出会い、共に学び合う場として、毎年開催されています。

2日目【実践別分科会：居場所】では、居場所づくり実践の先駆者であるNPO法人フリースペースたまりばの西野博之さんより、長年にわたる自主事業運営の展開とその後の行政とのやり取り、公設民営化の状況などを伺いました。「居場所の真ん中に据えるのはこども・若者の命」「人権と尊重」「生きてるだけでOK」との西野さんの言葉が心に響きました。宇都宮市にもこんな場所を作りたいと強く思いました。

2/15のオープニング、基調講演の録画 →

### 政治活動 ちえの働き

### これまでの主な活動

次回質問は、2021年6月の予定です

- 1月 第32回地域支え合い研究会「8050問題 孤立を防ぐ地域へ」海外行政視察団派遣（スペイン、フランス、オランダ）
- 2月 市長へ要望書を提出「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」在宅ケアNWとちぎ研修会、2020新春の集い「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」の開催
- 3月 第33回地域支え合い研究会「徘徊模擬訓練と支え合い会議」
- 3月 定例議会（2/26～3/24）、小中学校臨時休業（3/2～）に伴う子どもの家(放課後学童保育)対応
- 4月 緊急事態宣言発令（外出自粛4/10～5/25）、特別委員会、学校臨時休業に伴う子どもの家対応、子どもの家総会
- 5月 子どもの家対応、市ドライブスルーPCR検査センター設置
- 6月 定例議会（6/12～7/1）一般質問、市監査委員に就任、宇都宮市議会倫理委員会・懲罰委員会が設置される
- 6月 第34回地域支え合い研究会「死生観～生きるということ～」
- 7月 監査委員会、子どもの家運営委員会、倫理委員会、特別委員会、ライオンズクラブ薬物乱用防止教室（市立晃陽中学校）、第35回地域支え合い研究会「宇都宮市若年者ターミナルケア」
- 8月 市監査委員会、倫理委員会、特別委員会、栃木県地方議会女性議員連盟研修会、第36回地域支え合い研究会「災害と防災～台風第19号による被害と支援から～」
- 9月 定例議会（8/26～9/29）国・県へ意見書提出「国民の生命と健康を守る医療機関への支援を求める意見書」「自動車税に関する意見書」、倫理委員会、特別委員会
- 9月 第37回地域支え合い研究会「きょうだい～親亡き後～」

### 社会活動 ちえの輪

誰もが居場所と出番のある地域共生社会を目指して

### 地域支え合い研究会

- 第37回 9月19日(土)18:00～20:00  
西原地区コミセン A B 会議室  
■障がいを抱える当事者の近くにいる「きょうだい」の存在  
■親亡き後のキーパーソンになり得る？
- 第38回 10月24日(土)18:00～20:00  
西原地区コミセン A B 会議室  
■支え合う地域づくりの実践に学ぶ
- 第39回 11月28日(土)18:00～20:00  
西原地区コミセン A B 会議室  
■宇都宮市「地域別データ分析」
- 第40回 12月12日(土)18:00～21:00  
西原地区コミセン A B 会議室  
■ゆく年、くる年(意見交換会)

お申込み: [sasaeikenkyukai@gmail.com](mailto:sasaeikenkyukai@gmail.com)